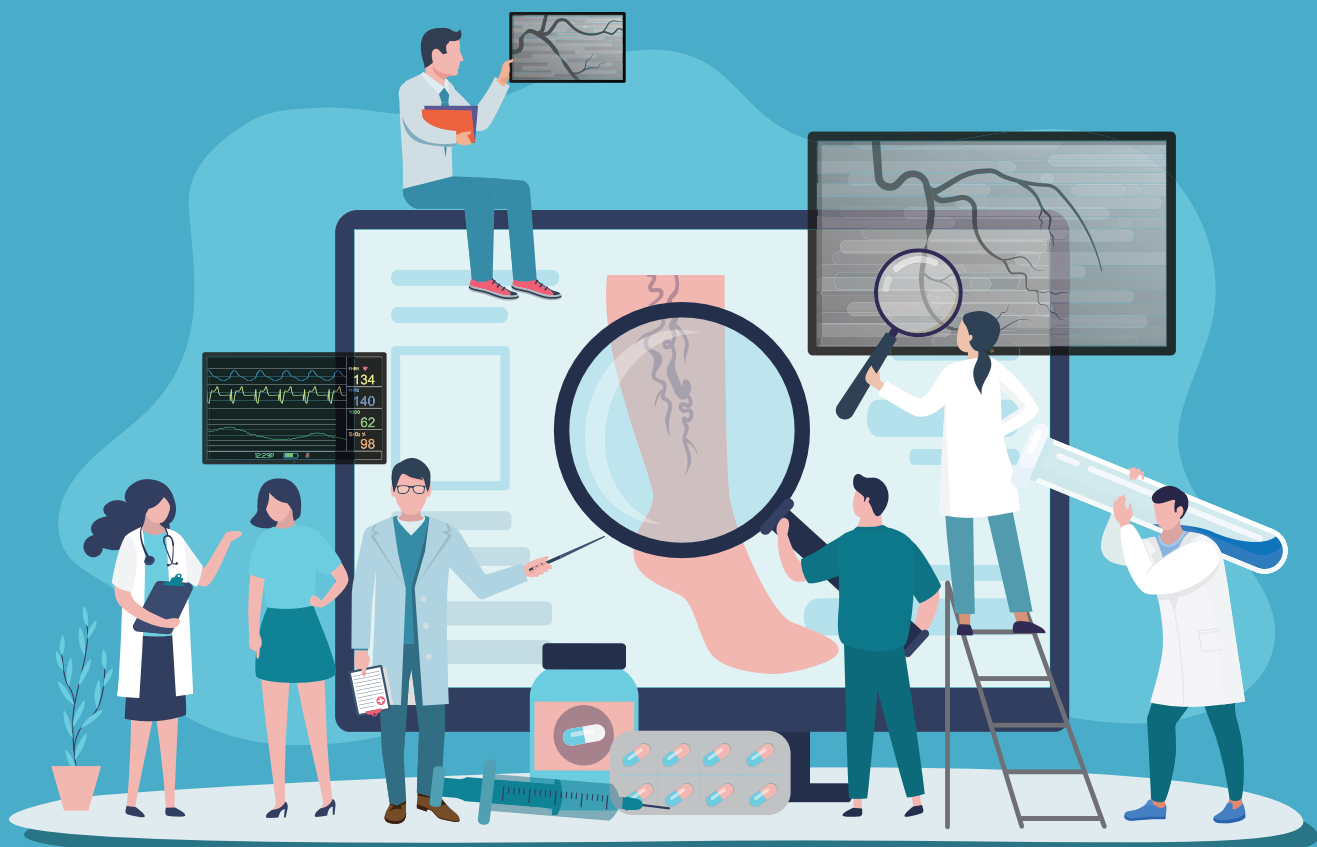


済生かわぐち

「地域のみなさまと医療のかけはし」 済生会川口総合病院 広報誌

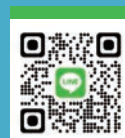
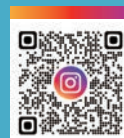


特集

●●●
総合力で挑む！

下肢動脈疾患治療の最前線

vol.
260





総合力で挑む！ 下肢動脈疾患治療の 最前線

循環器内科 中尾 優



はじめに

2024年11月1日から済生会川口総合病院循環器内科の主任部長を拝命しました中尾優（なかお まさし）と申します。通り一遍の疾患紹介だけではつまらないと思いますので、まずは私の事を知っていただきたく、簡単な自己紹介から始めます。

私は岡山県浅口市寄島町（現、浅口市寄島町）という、瀬戸内海と山に囲まれた人口6000人ほどの、それはのどかな町で育ちました。当時はなんとも思っていないかもしれませんが、我が町には信号機は2つ（うち1つは常時点滅信号）しかなく、高校までは自転車で片道1時間、山を2つ越えて通学という、とんでもない田舎でした。今は年に2回は子どもを連れて帰省す



寄島遊園から望む穏やかな瀬戸内海
浅口観光協会ホームページより



瀬戸内海で釣りをする子ども達

るのですが、子ども達は雄大な自然に毎回大喜びで、若い頃は田舎で嫌だった自分の故郷が、今となつては非常に尊いものを感じています。

大学はお隣の島根県にある島根大学医学部に入学しました。こちらは瀬戸内海とは逆に荒々しい日本海に面した地域であり、大学のあった出雲市はこれまた惚れ惚れするくらいの田舎でした。そして大学生活がスタートしたものの『本当に医者で人生を終えていいのだろうか』と考えるようになり、『世界を実際に見て周りたい』と強く思うようになりました。そして周囲の反対を押し切り、1年間大学を休学し、ユーラシア大陸を独りでバックパッカーとして回りました。当時はまだインターネットが普及黎明期のため、世界は今よりもずっと広く、中東なども皆親切でどこか牧歌的な雰囲気を感じました。

1年間で考えがまとまり、医者を目指すために大学に復学。卒業と同時に



上京し、初期臨床研修後の2007年に東京女子医科大学心臓病センター循環器内科に入局しました。大学病院、地方病院（済生会熊本病院、相模野病院）で研修を積み、2012年からは東京女子医科大学病院循環器内科のCCU、カテーテル検査室に所属しました。そこからの12年ほどは主に虚血性心疾患、下肢末梢動脈疾患のカテーテル治療に携わってきました。途中からはカテーテル検査室の現場のトップとして、当時の最先端治療を行うとともに、後進の技術的指導、研究・論文執筆指導などを行ってきました。この時期は大学病院として非常に困難な時期でしたが、循環器内科の現場の医師達は、自分達の医療に誇りを持って精一杯頑張っていたと断言できると思います。

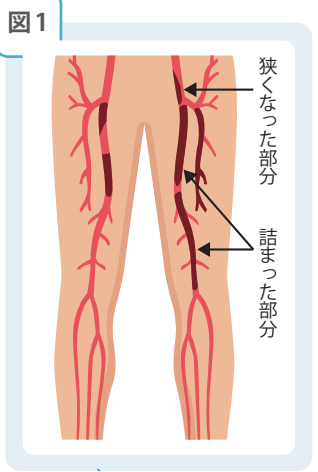


図1

な酸素が供給されなくなる病気です。（図1）近年、高齢化の進行や生活の欧米化によって、患者数は増加しています。

■どのような症状がでるか

初期には自覚症状はありませんが、進行すると症状を呈してきます。

（Fontaine分類）（図2）

- I度 無症状、冷感、痺れ
- II度 間欠性跛行（かんけつせいはいこう）…しばらく歩くとふくらはぎなどが締め付けられるように痛くなり歩けなくなるが、休憩すると痛みがなくなつて再び歩ける。狭窄や閉塞が悪化すると次第に歩ける距離が短くなる。
- III度 安静時疼痛…歩かずに安静にしているても痛みが続く。
- IV度 潰瘍・壊死（えし）…皮膚や筋肉の血流が不足して、小さな傷や低温やけどなどをきつかけに、皮膚に潰瘍や壊死を起こした状態。

図2

I度 無症状

足先がしびれる、冷たく感じる。

II度 間歇性跛行

一定距離を歩くと筋肉の痛み・ひきつりを感じて歩けなくなる。休息すると回復し、再び歩くことができる。

III度 安静時痛

じっとしていても足が痛み、夜も眠れない。刺すような痛みが持続する。

IV度 潰瘍・壊死

見た目にも明らかに異常が現れる。

■検査

まず基本となるのはABI（Ankle-brachial Index: 足関節上腕血圧比）と

両手・両足の血圧を測り比較します。

ABI検査

足の血圧	手の血圧	結果
1.41≦ABI		足首の血圧が高め（石灰化の可能性）
1.0≦ABI≦1.4		正常範囲
0.91≦ABI≦0.99		正常範囲だが、境界領域
0.0≦ABI≦0.9		末梢動脈疾患の疑い

要注意 ← 正常 → 要注意

0.6 0.9 1.4

血流障害、狭窄が疑われます。 境界域 正常 動脈壁の石灰化が疑われます。

いう検査です。ABIは手の血圧と足の血圧を測って算出します。本来であれば足の血圧は手の血圧と比べると同じか、少し高いのが普通ですが、下肢動脈の血流障害がある場合は下肢の血圧が低くなります。ABIは症状（跛行、潰瘍）がある患者さんはもちろんですが、65才以上の方、50才以上でも糖尿病か喫煙歴を有する方には定期的な検査が推奨されています。その他、エコー（超音波）、CT、MRI、血管造影検査などがあります。

■治療

下肢閉塞性動脈硬化症の治療は、症状の観点からと生命予後の観点からの両方を考えていく必要があります。

■症状の観点から

- I度（無症状、冷感、痺れ）…禁煙の厳守。運動療法で側副血行路詰まっている血管を迂回する新たな血管の発達を期待します。
- II度（間欠性跛行）…禁煙の厳守。薬物療法、運動療法を行う。当院ではリハビリテーション科で運動療法を行っています。それでも症状が改善しない場合や悪化する場合には血行再建術（後述）を行うことがあります。
- III度（安静時疼痛）、IV度（潰瘍、壊死）…痛みを取り除くため、および感染を併発して下肢切断や、全身状態の悪化を招くことを防止するために血行再建術が必要になります。

■生命予後の観点から

下肢救済はもちろんですが、下肢動脈硬化性疾患をお持ちの方の実に半数以上に、脳血管疾患（脳梗塞など）、心血管疾患（狭心症や心筋梗塞などの冠動脈疾患）を合併することに意識する必要があります。木を見て森を見ずではないですが、下肢動脈ばかりに気

を取られて、大きく生命予後に関係する脳・心血管疾患を見逃さないようにすること、適切にそれら疾患のスクリーニングと治療を行うことが非常に重要です。

■血行再建について

血行再建の方法は大きく分けて二つあります。一つは血管内治療（カテーテル治療）。もう一つは外科的治療（バイパス手術）です。

血管内治療はほとんどの場合、局所麻酔で行います。細い管（カテーテル）を用いて病変部にワイヤーを通し、風船（バルーン）で拡張、場合によっては再度狭くなることを防ぐために薬剤を塗布したり、ステントと言われる金

属の網を病変部に留置したりします。

外科的治療は全身麻酔下で行います。病変の前後を自家静脈（患者さん自身の静脈）もしくは人工血管を用いてつなぐ（吻合する）ことによって、病変部より末梢に血流を供給することができま

血管内治療、外科的治療共に利点と欠点があり、それらは全身状態や合併症の状況、病変の部位（部位によって治療結果の優劣があります）によって異なります。

そこで大事になるのが、診療科の都合でどちらか一方に治療方針が偏らないことです。

当院は両方の治療をハイレベルに行うことができます。関東でも数少ない施設です。我々循環器内科と血管外科の西山綾子先生をはじめとする先生方は『自分の家族だったら何がベ

やうけん

ストか」と常に考え、多職種のカンファレンスで患者さんにとって最適な治療は何かをきちんと検討し、質の高い医療を提案できるよう、日々の診療を行っています。

下肢動脈硬化性疾患は早期に発見、適切に治療することが大事です。そして前述しましたが、下肢動脈のみでなく、全身の動脈硬化性疾患として捉えることが非常に重要です。症状（跛行、潰瘍）がある方はもちろんですが、65才以上の方、または50才以上でも糖尿病か喫煙歴を有する方はABI検査をお勧めいたします。ABIに異常がありましたら、その後の精査を行いますので、紹介状などをお持ちになり、お気軽に当院を受診していただければと思います。



循環器内科
主任部長
なかお まさし
中尾 優

- 資格・認定
- ・日本内科学会認定内科医・総合内科専門医
- ・日本循環器学会認定専門医
- ・日本心臓インターベンション学会(CVIT) 認定医・専門医
- ・難病指定医
- ・身体障害者指定医



新 看 護 部 長 紹 介

看護部長就任にあたり



高橋郁子

2025年1月1日付けで看護部部長を拝命しました高橋郁子です。よろしくお願いいたします。

当院は、済生会としての使命と地域の急性期病院としての役割を担っています。済生会の使命は「医療を受けられないで困っている人を救う」、地域の急性期病院としての役割は「より重症の患者を受入れて早期に状態の安定を図り、在宅あるいは地域の回復期や慢性期の病院に繋ぐ」です。これは、しっかり引き継いでいきます。

私は済生会川口総合病院に就職して37年になります。その間、大切にしたい看護は幾度か変わりましたが、ここ10年以上は「環境が患者さんを元気にする」ということを大切に思っています。医療がますます高度になっていくなか、看護として変わらないものの1つに、対話を通してお互いを理解し、居心地の良い療養環境を整えることがあげられます。そして、対話の中から、その人のそ

の人らしい生活を一緒に考えることが、看護の喜びでもあります。よりスムーズにその方向に向かえるように、当院では多職種でのチーム医療を活発に行っています。リハビリテーションカンファレンス、疼痛カンファレンス、栄養サポートチームや緩和ケアチームのカンファレンスなどがありますが、看護師は患者さんやご家族の一番身近にいる存在として、代弁者となるように心がけています。

患者さんやご家族の皆さんは、高度な医療を求めて当院を選んでくださっていますので、質の高い知識・技術を持って看護をすることは大前提です。そのために、経験年数、実力に応じた段階的な教育を行い、実践能力の高い看護師と専門的能力の高い看護師の育成にも力を入れています。今後も専門職としての深い知識と確かな技術を身につけ、患者さんやご家族と専門的な立場から対話ができる看護師の育成を目指していきます。



（右：名古屋前看護部長）

あなたの町のホームドクター



Sunnyキッズクリニック 川口駅前院

一般小児外来 予防接種 乳幼児健診 夜尿症外来

ご家族、お子さまが安心して治療を受けられるよう、安心してご自宅で過ごせるよう、正しい医療知識の提供に力を入れています。小さな疑問でも気軽にご相談ください。時間帯予約やWEB問診などの取り組みで、ご来院の負担を最小限にし、365日いつでも安心して受診いただける体制を整えております。育児の不安を解消し、皆様が安心、安全に暮らしていけるサポートが少しでもできる様に、スタッフ一同努めてまいります。



理事長
わかばやし だいき
若林 大樹 先生

	月	火	水	木	金	土	日
午前 09:00~13:00	○	○	○	○	○	○	○
午後 14:00~18:00	○	○	○	—	○	○	○

○休診日：木曜午後
○WEB予約(当日7時~受付開始)

住 所：埼玉県川口市栄町3-13-1
JU-MALL PLAZA 301-4
TEL:048-400-2291



シュシュレディースクリニック 戸田公園

産婦人科 美容皮膚科 漢方内科

「シュシュ」はフランス語で「お気に入り」という意味で、地域の皆様の「お気に入り」のクリニックになれるようにと、願いを込めて名付けました。「怖くない、痛くない、面倒くさくない」を心掛け、診察に行ったら良かったと安心していただけるようなクリニックを目指します。

また、美容皮膚科的な処置も可能で女性の美と健康を医療でトータルにサポートしております。さらに、東洋医学的な視点も持ちながら、患者様のお悩みをよく聞いて、お一人おひとりに最適な治療と一緒に考えてまいります。



まえて よしのぶ
院長 **前出 喜信** 先生

	月	火	水	木	金	土	日
09:15~17:00	○	—	○	○	○	○	—

○休診日：火曜 日曜 祝日

住 所：埼玉県戸田市上戸田2-7-9
TEL:048-242-8088



リ整形外科

整形外科 リハビリテーション科 リウマチ科 スポーツ整形外科
手外科

多くの整形外科疾患は治療だけでなく、生活指導やリハビリテーション治療を通じてその進行を予防することで日常生活での満足度が大きく変わってきます。当院では可能な限り、皆さまのご要望にお応えできるような治療プランをご用意しております。

スタッフ一同、「笑顔」と「優しさ」を忘れないよう心の通った診療を意識しながら皆様のサポートさせていただきます。痛みや怪我、からだの不具合でお困りの方はいつでもお気軽にご相談ください。



い そくおん
院長 **李 碩遠** 先生

	月	火	水	木	金	土	日
午前 09:00~12:30	○	○	○	○	○	○	—
午後 15:00~18:30	○	○	—	○	○	—	—

○休診日：水曜午後 土曜午後 日曜 祝日

住 所：埼玉県川口市栄町1-12-21
シティデュオタワー川口
医療モール209
TEL:048-452-4990



Sunnyキッズクリニック 戸塚安行院

一般小児外来 予防接種 乳幼児健診 夜尿症外来

「Sunny に行けばなんとかしてもらえ」「Sunny があるからなんとかなる」とご家族が思え、「Sunny に行きたい!!!」とこども達が思えるようなクリニックを目指しています。時間帯予約や WEB 問診などの取り組みで、ご来院の負担を最小限にし、365 日いつでも安心して受診いただける体制を整えております。育児の不安を解消し、皆様が安心、安全に暮らしていけるサポートが少しでもできる様に、スタッフ一同努めてまいります。



理事長
わかばやし だいき
若林 大樹 先生

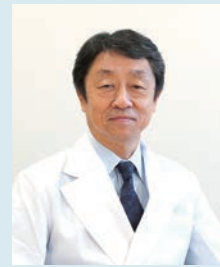
	月	火	水	木	金	土	日
午前 09:00~13:00	○	○	○	○	○	○	○
午後 14:00~18:00	○	○	○	—	○	○	○

○休診日：木曜午後
○WEB予約(当日7時~受付開始)

住 所：埼玉県川口市戸塚南1-1-5
TEL:048-294-0365

院長日誌

ここにきてインフルエンザが流行しています。新型コロナ感染症がやや落ち着いており、感染予防に対する意識が薄れてきているのでしょうか。
今年のワクチンはずれだったかもしれません。
感染者のくしゃみ・咳などからの飛沫感染、手から口・鼻などを經由する接触感染により、インフルエンザウイルスが感染するとされています。
今一度、感染防御の基本に立ち返り、手洗い・マスク着用・咳エチケット、一人ひとりが「かからない」「うつさない」を心がけましょう。



病院長 佐藤 雅彦



イベント

参加
無料

EVENT

■ 小児健康教室(オンライン配信) 事前申し込みが必要です 「⑦発達～ペアレントトレーニング」

- ☐ 配信：2025年2月10日(月)～2月25日(火)(申し込み:2025/1/14～2/25)
- ☐ 問い合わせ：小児科 0570-08-1551(代)(平日15:00～16:30)



■ 肝臓病教室(オンライン配信) 申し込み不要です

医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・医療ソーシャルワーカーが、肝臓病に関する内容を説明します。

- ☐ 配信：2025年2月3日(月)～2月17日(月)
- ☐ 問い合わせ：外科・消化器センター受付 0570-08-1551(代)(平日15:00～16:30)



■ 暮らしの保健室健康講座 事前申し込みが必要です

「美味しく食べ続けるために～えん下機能低下のサインと簡単にできるトレーニングを知ろう～」

- ☐ 開催日時：2025年2月25日(火) 13:30～14:30
- ☐ 場所：済生会川口総合病院東館地下1階講堂
- ☐ 申し込み・問い合わせ：048-253-8927(平日9:00～16:30)もしくは相談室へ直接来室

詳しくは当院ホームページでご確認ください。

新任医師紹介



泌尿器科
齋藤 彬



眼科
大橋 梨穂子



呼吸器内科
青山 暉

【公式】
済生会川口総合病院
マタニティInstagram



【院外報・済生かわぐち】
バックナンバー



【済生会川口総合病院】
採用情報



病院の理念

患者さんを中心とした
質の高い医療の提供により
地域・社会に貢献します



社会福祉法人 恩賜 済生会支部
財団

埼玉県済生会川口総合病院

〒332-8558 埼玉県川口市西川口5-11-5 ● tel 0570-08-1551(代) ● HP <https://www.saiseikai.gr.jp/>
済生かわぐち 第260号 2025年1月25日発行 ● 発行人: 病院長 佐藤 雅彦 ● 編集: 経営企画課